

記者発表資料

平成27年4月15日

東北歴史博物館

担当：情報サービス班 大沼

電話：022-368-0106

東北歴史博物館 平成27年度特別展

医は仁術

「仁」は、“人を想う心”です。古来“和”を大切にしてきた我が国で、「仁」は身分の上下なく誰もが持つべき思想として浸透し、日本文化の根幹として受け継がれてきました。

日本の医学・医療は最先端といわれていますが、その始まりは、中国から伝わり独自の発展を遂げた漢方と、西洋から伝わった蘭学が融合し、本格的な医学・医療が始まった江戸時代にあります。医師らは、外来の知識と技術を貪欲に吸収しつつ、予防医学としての「養生」の知識を庶民に広めるべく尽力しました。江戸時代から続く医に対する考え方や習慣は、社会全体で共有され、現代日本の医療にも受け継がれています。

本展は、江戸時代を中心として現代まで、人々や社会が「医」をどのように考え、実践してきたかを、豊富な資料群によって示します。人と医、社会と医の関係が大きく変容しようとしている現在、本展がこれからの医学・医療について考える契機となることを願い開催するものです。

記

- 1 会 期 平成27年4月18日(土)～6月21日(日) 開館日数 57日間
- 2 会 場 東北歴史博物館 特別展示室 映像展示室
- 3 主 催 東北歴史博物館 TBC東北放送 河北新報社
- 4 協 賛 株式会社シバタインテック 東日本メディカルシステム株式会社
- 5 後 援 多賀城市 多賀城市教育委員会 多賀城市観光協会 多賀城・七ヶ浜商工会
宮城県医師会 宮城県歯科医師会 宮城県薬剤師会 宮城県看護協会
IBC岩手放送 テレビユー山形 テレビユー福島
- 6 協 力 東北大学 順天堂大学
- 7 制作企画 国立科学博物館 TBSテレビ
- 8 展示概要
第1章 病はいつの時代も、身分の貴賤なく、人々を襲う。
第2章 東から西から～医術の伝来
第3章 医は仁術～和魂漢才、和魂洋才の医
第4章 近代医学と仁
第5章 現代の医



「大宅太郎光国妖怪退治之図」[部分]
(国立科学博物館蔵)

宮城会場独自コーナー 「仙台の医」「東北の『医は仁術』現在と未来」

第6章 鉄拳シアター「パラパラ漫画」

9 開 会 式

- (1) 日 時 平成27年4月18日(土)午前9時から(受付：午前8時35分～)
- (2) 場 所 東北歴史博物館1階エントランス
- (3) 次 第
イ 開 会 [9:00] ロ 主催者挨拶
ハ 来賓祝辞 ニ 来賓紹介
ホ 主催者紹介 ヘ テープカット
ト 閉 会 [9:20]
チ 展示案内

鈴木 一義氏(国立科学博物館)が展示の見どころ等をご案内します。

- 10 その他 本展では、報道関係者等対象とした内覧会は開催いたしませんので、会期中に観覧くださるようお願いいたします。

参考 URL：<http://www.thm.pref.miyagi.jp/exhibition/>